

第6回  
「離婚したくなる亭主の仕事」  
調査

2019 年3月

あなたの会社の **e-審査部**  
**リスクモンスター株式会社**

<http://www.riskmonster.co.jp>

## ■ 調査の概要

### 1. 調査名称

第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査

### 2. 調査方法

インターネット調査

### 3. 調査エリア

全国

### 4. 期間

2019年2月8日(金)～2月11日(月)

### 5. 調査対象者

20～49歳の既婚者 女性個人 600人

### 6. 有効回収数

600サンプル

### 7. 回答者の属性

性別・年齢層

	20代	30代	40代	合計
既婚女性	200	200	200	600
合計	200	200	200	600

## 1. 調査結果

### [1] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の仕事に対する満足度

調査対象者 600 名に対し、「夫の仕事に対する不満の有無」を調査したところ、「不満がある」との回答は 47.2%となり、妻の半数近くが夫の仕事に対して不満を持っているとの結果となった。

「不満がある」と回答した内訳を年齢別でみると、「30代」(同 53.5%)が最も高く、次いで「20代」(同 46.0%)、「40代」(同 42.0%)と続いている。

夫の年収別に不満の有無を集計したところ、「300万円未満」(回答率 66.7%)が最も不満が高く、次いで「300万円以上 400万円未満」(同 57.6%)、「400万円以上 500万円未満」(同 52.8%)、「500万円以上 600万円未満」(同 51.7%)と、夫の年収が低くなるにつれて、妻の不満が高くなる傾向がうかがえる。

続いて、「夫に対する転職希望の有無」を調査したところ、30.3%が「転職して欲しい」と考えているという結果となった。「転職して欲しい」と回答した内訳を年代別でみると、「20代」(回答率 35.0%)が最も高く、次いで「30代」(同 32.0%)、「40代」(同 24.0%)の順となり、年齢層が上がるに連れて夫に対する転職希望が低くなる傾向が見られた。

夫の年収別に転職希望の有無を集計したところ、「300万円未満」(回答率 47.4%)が最も高く、次いで「300万円以上 400万円未満」(同 41.2%)、「1,500万円以上」(同 40.0%)となった。夫の年収が低いほど、妻は転職して欲しいと考えているものの、1,000万円を超える高所得層においても、転職して欲しいと考える妻が少なからず存在することが明らかとなった。

さらに、「夫の仕事の原因とする離婚意識の有無」を調査したところ、「夫の仕事が原因で離婚したい」と考えている妻が全体の 9.2%存在していることが明らかとなった。

「離婚したい」と回答した内訳を年代別でみると、「20代」(回答率 9.0%)、「30代」(同 9.5%)、「40代」(同 9.0%)と大きな差は生じておらず、「不満がある」、「転職して欲しい」に比べて年齢層による傾向が小さいことが分かった。

夫の年収別に離婚意識の有無を集計したところ、「1,500万円以上」(回答率 40.0%)が最も高く、次いで「800万円以上 1,000万円未満」(同 16.3%)、「300万円未満」(同 15.8%)と、中間所得層以外の層において離婚意識が高い傾向となった。

夫の仕事に対する妻の不満は、概ね年収の低さと比例している一方で、年収 800万円を超える高所得者層においても不満が生じている様子が表れている。(図表A)

「夫の仕事に対する満足度」を業種別に集計したところ、「不満」、「転職希望」、「離婚意識」のいずれにおいても全体平均を超える回答率となったのは、「農業」、「運輸業」、「卸売業」、「不動産業」、「飲食店・宿泊業」であった。

中でも、「農業」、「不動産業」、「飲食店・宿泊業」は、前回調査に続いて不満の割合が高い業種となっており、妻の不満が高くなりやすい業種であるといえよう。(図表B)

## [2] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の仕事に対する不満理由

「夫の仕事に不満がある」と回答した理由について集計したところ、最も多かった理由は、「給料が低い」(回答率 73.5%)であり、次いで「残業が多い」(同 37.1%)、「休みが少ない」(同 19.1%)となった。上位3項目は前回と同様の結果となっており、妻が夫の仕事に不満を持つ大きな要因といえる。特に「給料が低い」は、他の項目と比較して回答率が圧倒的に高く、給料に大きな不満を持っている様子が表れている。

前回との比較では、「残業が多い」、「休みが少ない」といった、私生活の時間の減少につながる項目における不満が低下している一方で、給与に対する不満が一段と上昇している。

不満理由について年齢層別に見ると、「給料が低い」という理由は全ての年齢層において 70%を超える回答率となっており、特に 20 代においては 80%近い回答率となっている。また、「休みが少ない」、「土日休みでない」という不満は、全体では上位ではあるものの、40 代になると回答率が大きく低下している。(図表C)

夫の年収別の不満理由を見ると、「給料が低い」は、「500 万円未満」の層において 80%超の回答率であり、特に「年収 300 万円未満」の層においては 90%を超える回答率となっている。

一方、「年収 600 万円以上」になると不満の割合は 50%以下まで大幅に低下している。国税庁が発表した 2017 年版「民間給与実態統計調査」において、男性の平均年収が 531 万円であることを考慮すると、平均未満の年収であることが、妻の不満につながっていると考えられる。

そのほか、「残業が多い」という不満の回答率は、高所得層の方が高くなっており、妻は給料が高くとも、残業が多い夫には不満を持ちやすいといえる。(図表D)

夫の仕事に対する不満理由を「不満」、「転職希望」、「離婚意識」のそれぞれで集計したところ、いずれにおいても「給料が低い」が最も高い回答率となった。夫の給料が低いことは、妻にとって不満を持つだけでなく、離婚まで考える重要な要素であるといえよう。(図表E)

## [3] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の勤務勤め先に対するブラック企業意識

夫の勤務先に対するブラック企業意識の有無を調査したところ、「夫の勤務先はブラック企業だ」と考えている妻が 27.5%存在していることが判明し、4分の1超の妻が自分の夫はブラック企業に勤めていると考えていることが明らかとなった。

年齢層別にみると「20 代」(回答率 34.5%)、「30 代」(同 28.0%)、「40 代」(同 20.0%)と、年齢層が低いほど、夫の勤務先がブラック企業であるとの回答率が高くなっている。(図表F)

また、夫の仕事に対する満足度別にブラック企業意識を集計したところ、夫の勤務先がブラック企業だと思っている妻においては、「不満」、「転職希望」、「離婚意識」の全てにおいて、全体数値よりも高い回答率となっており、夫の勤務先がブラック企業であることと、夫の仕事に対する不満との間に明らかな相関性があることがうかがえる結果となった。(図表 G)

## [4] 「離婚したくなる亭主の仕事」／夫の勤務先がブラック企業だと思う理由

「夫の勤務先はブラック企業だと思う」と回答した理由について調査したところ、「サービス残業が多い」(回答率 55.2%)が最も高く、次いで「有給休暇を取得できない」(同 41.2%)、「休日出勤が多い」(同 32.1%)の順となった。

「サービス残業が多い」は、すべての年齢層で回答率が 50%を超えており、長時間働いても給料が増えないことに対する妻の不満が表れているといえる。(図表 H)

## [5] 「離婚したくなる亭主の仕事」／妻の就業状況との比較

妻の就業状況別に夫の仕事に対する不満の有無を集計したところ、「不満」、「転職希望」、「離婚意識」の全てにおいて、就業している妻の方が夫の仕事に不満を持っていることが明らかとなった。自身が就業している分、夫の勤務先の状況に対してより不満点が見えやすくなっている結果であるといえよう。(図表 I)

## 2. 総評

厚生労働省発表の人口動態統計(2017 年)によれば、「3組に1組が離婚」し、「2分に1組が離婚」しているという。せっかく結婚に至ったにもかかわらず離婚を決断してしまう原因はどこにあるのだろうか。本アンケートは、離婚に至る様々な原因の中で、特に「夫の仕事」にフォーカスし、婚姻関係への影響について調査したものである。

今回の調査結果では、「夫の仕事に対して妻の2人に1人は不満」を持っており、「3人に1人は夫に転職して欲しい」と考え、「10 人に1人は夫の仕事が原因で離婚したい」と思っていることが明らかとなった。

本アンケートの結果から、夫の仕事に対する妻の不満は「夫の収入」が最も大きな要因であり、平均水準以上の年収を稼いでいるか否かが不満を持つ大きなポイントであることが見えてくる。

しかし、その一方で、年収が 800 万円を超える高所得者層においても、妻の4人に1人が夫の仕事に不満を持っており、その理由として「残業が多い」が挙げられている点については、ある程度の収入があっても、その収入を得るために仕事の拘束時間が長くなることに関しては、これまた不満に繋がっているということになる。

さらに、就業している妻においては、「夫の収入が低いために働かざるを得ない」、「私も働いているのだから、夫にももっと家事や育児をして欲しい」といった観点から、夫の仕事に対する不満が高まっていることが想像される。

また、前回調査と比較によると、夫の仕事に対する不満は、「残業が多い」、「休みが少ない」、「福利厚生が不十分」などを中心に低下し、「給料が低い」という不満は上昇している。昨今の働き方改革推進の効果と、それによって残業や休日出勤が減少し、給料が減少したことに対する妻の不満が同時に表れた結果といえよう。

上記の結果から、夫の多くは、妻には「より多くの稼ぎ」と「家庭での時間」を求められ、会社からは「残業をせずに早く家に帰ること」を求められるという板ばさみの状態にあるということになる。

夫の仕事に対して妻の半数が不満を持っており、10 人に1人が夫の仕事が原因で離婚したいと考えているという事実もある中で、夫自身が仕事と家庭のバランスを意識することは必要であるが、勤務先である企業側においても、自社の社員が家族から不満を持たれない労働環境を積極的に作っていくことが求められよう。

図表A 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／夫の仕事に対する満足度 年齢・年収別 (n=600)

		夫の仕事に不満がある		夫に転職して欲しい		夫の仕事が原因で離婚したい	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回
全体		47.2%	49.0%	30.3%	33.0%	9.2%	12.0%
年代	20代	46.0%	53.5%	35.0%	38.5%	9.0%	13.5%
	30代	53.5%	52.0%	32.0%	33.0%	9.5%	12.5%
	40代	42.0%	41.5%	24.0%	27.5%	9.0%	10.0%
夫の年収	300万円未満	66.7%	52.0%	47.4%	38.6%	15.8%	16.0%
	300万円～400万円	57.6%	62.3%	41.2%	43.9%	8.2%	13.2%
	400万円～500万円	52.8%	55.2%	32.6%	36.0%	7.9%	8.8%
	500万円～600万円	51.7%	53.8%	33.3%	30.8%	5.7%	12.5%
	600万円～800万円	36.8%	33.0%	20.7%	23.2%	5.7%	8.9%
	800万円～1,000万円	27.9%	23.0%	16.3%	24.9%	16.3%	13.9%
	1,000万円～1,500万円	14.3%	35.7%	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%
	1,500万円以上	40.0%	50.0%	40.0%	66.7%	40.0%	33.3%

※背景色付きは、全体の回答率を超える数値

図表B 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／夫の仕事に対する満足度 業種別

(n=600)

	夫の仕事に不満がある		夫に転職して欲しい		夫の仕事が原因で離婚したい		
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	47.2%	49.0%	30.3%	33.0%	9.2%	12.0%	
夫の業種	農業	66.7%	60.0%	66.7%	60.0%	33.3%	40.0%
	漁業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	鉱業	37.5%	50.0%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%
	建設業	37.5%	61.2%	25.0%	40.8%	12.5%	14.3%
	食品製造業	34.8%	53.3%	21.7%	46.7%	8.7%	13.3%
	資材製造業	41.2%	29.2%	35.3%	45.8%	5.9%	16.7%
	機械器具製造業	46.3%	26.5%	22.0%	23.5%	4.9%	5.9%
	その他製造業	36.4%	45.9%	13.6%	29.7%	11.4%	8.1%
	電気・ガス・熱供給・水道業	46.2%	35.3%	23.1%	35.3%	0.0%	5.9%
	情報通信業	44.7%	44.0%	21.1%	36.0%	0.0%	20.0%
	運輸業	56.0%	60.9%	36.0%	34.8%	12.0%	10.9%
	卸売業	54.5%	52.0%	54.5%	32.0%	18.2%	12.0%
	小売業	45.0%	66.7%	35.0%	33.3%	12.5%	9.1%
	金融・保険業	46.2%	33.3%	19.2%	25.0%	3.8%	4.2%
	不動産業	53.3%	52.9%	53.3%	41.2%	20.0%	17.6%
	専門サービス業	36.4%	40.0%	27.3%	26.7%	18.2%	13.3%
	飲食店、宿泊業	64.0%	69.2%	44.0%	61.5%	16.0%	19.2%
	娯楽業	54.5%	50.0%	27.3%	50.0%	27.3%	0.0%
	教育、学習支援業	50.0%	47.1%	18.8%	23.5%	12.5%	0.0%
	医療、福祉	51.1%	56.5%	48.9%	39.1%	8.9%	17.4%
その他サービス業	52.3%	48.6%	40.9%	35.1%	2.3%	13.5%	
公務	42.2%	39.1%	8.9%	15.2%	4.4%	4.3%	
その他	60.0%	56.1%	42.5%	22.0%	7.5%	12.2%	

※背景色付きは全体の回答率を超える数値

図表C 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／不満理由（年齢別）

(n=283/複数回答)

	女性全体			20代	30代	40代
	今回	前回	変動			
給料が低い	73.5%	68.7%	+4.8	79.3%	71.0%	70.2%
残業が多い	37.1%	48.3%	▲ 11.2	40.2%	40.2%	29.8%
休みが少ない	19.1%	26.5%	▲ 7.4	19.6%	20.6%	16.7%
土日休みでない	18.0%	18.0%	±0.0	19.6%	19.6%	14.3%
福利厚生が不十分	17.0%	21.8%	▲ 4.8	13.0%	17.8%	20.2%
勤務形態が不規則	17.0%	14.6%	+2.4	17.4%	20.6%	11.9%
将来性が感じられない会社	17.0%	14.3%	+2.7	14.1%	16.8%	20.2%
ブラック企業	14.1%	10.5%	+3.6	21.7%	10.3%	10.7%
周囲との生活のペースが異なる	10.6%	6.8%	+3.8	13.0%	11.2%	7.1%
転勤が多い	4.9%	6.1%	▲ 1.2	4.3%	4.7%	6.0%
出張などで不在が多い	3.2%	8.2%	▲ 5.0	2.2%	3.7%	3.6%
雇用形態が正社員ではない	3.2%	3.4%	▲ 0.2	5.4%	1.9%	2.4%
清潔感がない	2.5%	1.0%	+1.5	2.2%	2.8%	2.4%
企業のイメージが悪い	2.1%	2.0%	+0.1	3.3%	1.9%	1.2%
居住環境(社宅など)が悪い	1.8%	1.4%	+0.4	3.3%	0.0%	2.4%
その他	3.5%	6.1%	▲ 2.6	3.3%	2.8%	4.8%

※背景色付きは、上位3項目



図表D 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／不満理由(年収別)

(n=283/複数回答)

	女性全体	夫の年収							
		300万円未満	300万円～400万円	400万円～500万円	500万円～600万円	600万円～800万円	800万円～1000万円	1000万円～1500万円	1500万円以上
給料が低い	73.5%	92.1%	83.7%	80.9%	73.3%	46.9%	33.3%	50.0%	50.0%
残業が多い	37.1%	28.9%	36.7%	38.3%	44.4%	40.6%	50.0%	0.0%	100.0%
休みが少ない	19.1%	13.2%	18.4%	27.7%	15.6%	15.6%	16.7%	0.0%	0.0%
土日休みでない	18.0%	13.2%	10.2%	25.5%	15.6%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
福利厚生が不十分	17.0%	13.2%	28.6%	17.0%	13.3%	9.4%	33.3%	0.0%	0.0%
勤務形態が不規則	17.0%	10.5%	16.3%	14.9%	11.1%	21.9%	25.0%	0.0%	0.0%
将来性が感じられない会社	17.0%	18.4%	26.5%	21.3%	15.6%	6.3%	16.7%	50.0%	0.0%
ブラック企業	14.1%	2.6%	22.4%	10.6%	22.2%	6.3%	16.7%	0.0%	0.0%
周囲との生活のペースが異なる	10.6%	10.5%	10.2%	23.4%	8.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
転勤が多い	4.9%	0.0%	2.0%	4.3%	6.7%	18.8%	8.3%	0.0%	0.0%
出張などで不在が多い	3.2%	2.6%	2.0%	2.1%	4.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
雇用形態が正社員ではない	3.2%	7.9%	4.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
清潔感がない	2.5%	2.6%	2.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
企業のイメージが悪い	2.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
居住環境(社宅など)が悪い	1.8%	0.0%	4.1%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3.5%	7.9%	0.0%	4.3%	2.2%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%

※背景色付きは、上位3項目

図表E 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／不満理由 (n=不満 283、転職 182、離婚 55/複数回答)

	夫の仕事に不満がある		夫に転職して欲しい		夫の仕事が原因で離婚したい	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
給料が低い	73.5%	68.7%	61.0%	59.1%	63.6%	66.7%
残業が多い	37.1%	48.3%	34.1%	37.9%	30.9%	20.8%
休みが少ない	19.1%	26.5%	18.1%	23.2%	10.9%	13.9%
土日休みでない	18.0%	18.0%	18.7%	17.2%	18.2%	20.8%
福利厚生が不十分	17.0%	21.8%	17.0%	25.3%	21.8%	16.3%
勤務形態が不規則	17.0%	14.6%	15.4%	15.7%	9.1%	12.5%
将来性が感じられない会社	17.0%	14.3%	18.7%	16.2%	29.1%	15.3%
ブラック企業	14.1%	10.5%	15.9%	12.1%	12.7%	9.7%
周囲との生活のペースが異なる	10.6%	6.8%	9.9%	7.1%	12.7%	9.7%
転勤が多い	4.9%	6.1%	4.4%	7.1%	3.6%	4.1%
出張などで不在が多い	3.2%	8.2%	2.7%	5.6%	3.6%	5.6%
雇用形態が正社員ではない	3.2%	3.4%	2.7%	3.0%	9.1%	2.8%
清潔感がない	2.5%	1.0%	2.7%	1.0%	3.6%	2.8%
企業のイメージが悪い	2.1%	2.0%	2.2%	2.5%	5.5%	4.2%
居住環境(社宅など)が悪い	1.8%	1.4%	1.6%	2.0%	0.0%	1.4%
その他	3.5%	6.1%	3.3%	6.1%	0.0%	4.2%

※背景色付きは、上位3項目

図表F 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／夫の勤務先に対するブラック企業意識 (n=600)

		夫の勤務先は ブラック企業だと思う		夫の勤務先は ホワイト企業だと思う	
		今回	前回	今回	前回
全体		27.5%	29.9%	72.5%	70.1%
年代	20代	34.5%	34.1%	65.5%	65.9%
	30代	28.0%	31.7%	72.0%	68.3%
	40代	20.0%	24.0%	80.0%	76.0%

※背景色付きは、全体の回答率を超える数値

図表G 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／ブラック企業意識×満足度

(n=不満 283、転職 182、離婚 55/複数回答)

	夫の仕事に 不満がある		夫に転職して 欲しい		夫の仕事が原因で 離婚したい	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
全体	47.2%	49.0%	30.3%	33.0%	9.2%	12.0%
夫の勤め先は ブラック企業だと思う	70.3%	88.8%	53.9%	62.1%	17.0%	24.9%
夫の勤め先は ホワイト企業だと思う	38.4%	33.2%	21.4%	21.6%	6.2%	7.0%

※背景色付きは、全体の回答率を超える数値

図表H 第6回「離婚したくなる亭主の仕事」調査／ブラック企業だと思う理由

(n=165/複数回答)

	女性全体		20代		30代		40代	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
サービス残業が多い	55.2%	57.5%	58.0%	55.2%	53.6%	64.6%	52.5%	52.5%
有給休暇を取得できない	41.2%	39.7%	31.9%	37.9%	46.4%	50.0%	50.0%	30.0%
休日出勤が多い	32.1%	37.7%	29.0%	36.2%	46.4%	37.5%	17.5%	40.0%
社内のハラスメント行為が多い	16.4%	17.1%	14.5%	22.4%	17.9%	18.8%	17.5%	7.5%
条例や法令等を遵守していない	13.3%	11.0%	10.1%	8.6%	14.3%	8.3%	17.5%	17.5%
異常なノルマ設定	12.1%	10.3%	11.6%	15.5%	16.1%	10.4%	7.5%	2.5%
商品・サービス品質等で顧客を欺いている	2.4%	1.4%	1.4%	0.0%	3.6%	4.2%	2.5%	0.0%
その他	7.3%	2.7%	7.2%	0.0%	3.6%	2.1%	12.5%	7.5%

※背景色付きは、上位3項目

図表I 第6回「仕事・会社に対する満足度」調査／就業状況別不満足意識 (n=600)

	夫の仕事に不満がある	夫に転職して欲しい	夫の仕事が原因で離婚したい
全体	47.2%	30.3%	9.2%
就業していない	44.8%	26.1%	6.7%
就業している	49.1%	33.7%	11.1%

※背景色付きは、全体の回答率を超える数値